学校番号	３１１

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『社会と情報　Ｎｅｘｔ』（数研出版）						
副教材等	使用しない						

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

「情報」や「情報社会」に関連するさまざまな知識を学習し、問題意識を持って情報社会に積極的にかかわる態度を身につけましょう。

「情報」を上手に活用するためのスキルを身につけましょう。学校のコンピュータを使って実技の実習がメインとなる科目です。

単元ごとに小テストを実施します。事前にテスト範囲を予告しますので、復習してきましょう。

また、専門コース決定にも大きく関わる授業です。特に情報のコースを志望する人は、２年次からの情報のコースでの授業履修が可能かどうか確認してください。

２．学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に参画する態度を身につける。

３．学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集､処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	授業への取り組み態度 実習で制作した課題	実習で制作した課題	実習で制作した課題	小テスト

上記に示す観点に基づいて、単元ごとに評価し、学年末に５段階の評定とします。
学習内容に応じて、それぞれ観点別に評価します。

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	パソコンの基本操作	(1)パソコンの基本操作 ①起動と終了 ②データファイルの管理 ③フォルダによるデータ整理	○		○		a:実技課題に意欲的に取組むことができる c:パソコンの基本操作ができる	授業観察 実技課題
	情報社会の問題解決	(2)情報とメディア ①情報とメディアの特徴 ②コンピュータの活用 (3)情報社会と情報モラル ①人・社会とのかかわり ②技術とのかかわり ③法とのかかわり	○	○		○	a:情報社会の課題に積極的に関わることができる b:情報社会の課題を見出し、解決方法を判断できる d:情報社会の一員として、生きる知識を身につけている	授業観察 ワークシート 小テスト①
	ワープロソフトの基本操作	(4)ワープロソフトの基本操作 ①ローマ字入力 ②基本的な文書作成 ③表の作成	○	○	○		a:実技課題に意欲的に取組むことができる b:学習した技術を用いて、効果的な表現ができる c:ワープロソフトの基本操作ができる	授業観察 実技課題 小テスト②
2学期	表計算ソフトの基本操作	(5)表計算ソフトの基本操作 ①データの入力 ②計算、関数の利用 ③グラフの作成	○		○		a:実技課題に意欲的に取組むことができる c:表計算ソフトの基本操作ができる	授業観察 小テスト③ 実技課題
	コンピュータとプログラミング	(6)ディジタル情報と情報の活用 ①情報のディジタル表現 ②情報の表現と伝達	○	○		○	a:ディジタル技術に積極的に関わることができる b:ディジタル化で生じる課題を思考し、解決方法を判断できる d:ディジタル技術に関する知識を身につけている	授業観察 小テスト④ 実技課題
	情報通信ネットワークとデータの活用	(7)情報通信ネットワーク ①コミュニケーション手段の発達 ②インターネットのしくみ	○	○		○	a:身近な情報システムに関心を持ち、関わることができる b:情報を守るしくみについて、思考を深めることができる d:ディジタル技術に関する知識を身につけている	授業観察 小テスト⑤ 実技課題

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	コミュニケーションと情報デザイン	(8)プレゼンテーションソフトの基本操作 ①スライドの作成 ②効果的なスライドショーの実行 ③プレゼンテーションソフトによる発表	○	○	○		a:実技課題に意欲的に取組むことができる b:学習した技術を用いて、効果的な表現ができる c:プレゼンテーションソフトの基本操作ができる	授業観察 実技課題
		(9)情報社会と問題解決 ①情報社会における問題解決 ②情報システム	○	○		○	a:情報社会のさまざまな問題に関心をもつことができる b:情報社会の問題を思考し、解決手法を判断できる d:情報社会と問題解決に関する知識を身につけている	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。